

発行所

日本歯科色彩学会

発行人 片山伊九右衛門

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-1

廣瀬お茶の水ビル4階

クインテッセンス出版株式会社内

TEL 03-3292-3691 FAX 03-3292-3696

## 第8回日本歯科色彩学会総会・学術大会を終了して

大会長 加藤 喜郎

実行委員長 新海 航一

本大会は「新世紀歯科医学・医療を支える歯科色彩学」をメインテーマに掲げ、去る7月8、9日の2日間にわたって日本歯科大学新潟歯学部で開催されました。

初日のシンポジウムは「色彩と心理」と題して日本歯科色彩学会副会長の潤田和好先生の座長の下で、片山直先生（明海大学歯学部保存修復学講座教授）、岩田健男先生（デンタルヘルスアソシエート代表）、牧野新先生（総合歯科医療研究所）の3名のシンポジストから興味深い講演がありました。講演後のディスカッションでは、予定終了時間を大幅に超えてしまうほど非常に活発な意見交換が行われました。ポスター発表は11演題がエントリーされ、活発なディスカッションが繰り広げられました。スケジュールの都合上、30分という非常に限られた時間内であり、十分な討論ができなかったのではないかと思います。ご容赦いただきたいと存じます。夕方の懇親会は台風の接近のため天候が悪く、楽しみにしていた屋外での開催が断念されました。そこで、学内レストランの屋内での開催となりましたが、ハワイアン演奏と歌をバックに夏の雰囲気をかもし出し、とても和やかで楽しい宴会となり、会員相互の親睦が図れたものと自負しております。

2日目のシンポジウム「は「審美障害となる変色歯の診査・診断と最新の治療手技」と題して腰原好先生（東京歯科大学歯科補綴学第二講座教授）の座長の下で、福島正義先生（新潟大学歯学部歯科保存学第一講座講師）、細矢由美子先生（長崎大学歯学部小児歯科学講座助教授）、山口龍司先生（日本歯科大学新潟歯学部歯科保存学教室第二講座助教授）、久光久先生（昭和大学歯学部保存修復学講座教授）、新谷英章先生（広島大学歯学部歯科保存学第一講座教授）、加藤喜郎先生（日本歯科大学新潟歯学部歯科保存学教室第二講座教授）6名のシンポジストが興味深く講演をされました。歯科治療に対する患者さんのニーズは高くなり、歯の形態、色調などいわゆる「歯科審美」に関しても深い関心を抱いているのが現状であります。テーマが時代の核心をついており、講演後、会場の先生方を交えて非常に活発なディスカッションがあり、前日のシンポジウムに引き続き、予定時間を大幅に超過してしまいましたが、とても有意義な時間でありました。

特別講演では歯科学会の枠を拡大して市民フォーラムの形式をとらせていただき、地域の皆様にもご参加いただきました。特別講演Ⅰでは、馬場悠男先生（国立科学博物館人類研究部部長および東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授）から「現代アジア人の誕生と現代日本人の形成」と題してご講演をいただきました。特別講演Ⅱでは「倭国女王卑弥呼と色彩感覚と」と題して水野正好先生（奈良大学文学部文化財学科教授）からご講演をいただきました。お二人ともご高名な先生方であり、一般市民を併せて約160名が参加され、お二人の熱弁に聞き入っていました。

折しも台風の接近による本大会への影響が非常に心配されましたが、スタッフ・一般市民を併せて総勢約200名の参加者が得られ、本大会は無事に終了することができたと思われまます。これもひとえに本大会にご講演いただいた講師の先生方、ご参加いただいた会員の皆様方、そしてご協賛いただいた賛助会社の皆様方のご協力によるものと心より深く感謝申し上げる次第であります。次回は昭和大学歯学部宮崎隆先生が大会長を努められます。次回大会にも我々に寄せられたような多大なご協力をお願いする所存です。

## 日本歯科色彩学会 2000年度 総会

日 時：2000年7月8日（土）15：00－15：40

場 所：日本歯科大学新潟歯学部 本館4F大会議室

### 1. 開 会

#### 2. 会長挨拶

片山会長より2000年度総会開催の挨拶があった。

#### 3. 1999年度総会議事録確認

森幹事より報告があり、若干の訂正の後、承認された。

#### 4. 議長、議事録署名人選出

総会議長に新海航一先生、議事録署名人に天野義和先生、市村葉先生が選出された。

### 5. 報告事項

#### 1) 総務・庶務報告

会員状況などについて片山（直）常任理事より報告があった。

#### 2) 会計報告

審議の項。

#### 3) 編集委員会報告

宮崎常任理事（編集委員長）より雑誌発行状況について報告があった。学術大会などと事業の時期を合わせたいとのこと。

#### 4) 学術報告

阪常任理事より優秀論文表彰、認定士制度について報告があった。

#### 5) 渉外報告

元呑常任理事よりホームページ、講習会などについて報告があった。

#### 6) 第8回日本歯科色彩学会・学術大会について

加藤喜郎大会長より大会の案内があった。

#### 7) その他

潤田副会長より、用語辞典作製について経過報告があった。

### 6. 審議事項

#### 1) 平成11年度決算について

1999年度決算報告案（別紙資料）が久光副会長から上程され、神津監事の監査報告後、満場一致で承認された。

#### 2) 平成12年度事業計画について

片山会長から事業計画（別紙資料）について提案があり、了承された。

#### 3) 平成12年度予算について

2000年予算案（別紙資料）が久光副会長から上程され、満場一致で承認された。

#### 4) 会則改定について

片山会長から会則改定について説明があり、満場一致で承認された。

#### 5) 平成12年度役員について

平成12年度追加役員として、常任理事に細矢由美子先生（長崎大学歯学部小児歯科）、向山賢一郎先生（昭和大学歯学部小児歯科）、理事に池見宅司先生（日本大学松戸歯学部保存修復）、鎌田政善先生（奥羽大学歯学部診療科学）、新海航一先生（日本歯科大学新潟歯学部保存第二）、末瀬一彦先生（大阪歯科大学歯科技工士専門学校）、竹内操先生（奥羽大学歯学部補綴第一）、細田幸平先生（細田歯科医院）、山口龍司先生（日本歯科大学新潟歯学部保存第二）、評議員に佐々木重夫先生（奥羽大学歯学部保存第二）が推薦され、満場一致で承認された。

また、これに伴って新役員の役割分担を別紙資料で示され、満場一致で承認された。

#### 6) 優秀論文表彰について

阪常任理事より優秀論文表彰について、今回は暫定処置として本会発行の雑誌全7巻で各巻ごとに1論文を選考委員で選考し、表彰することになった。なお第1巻は原著論文がなかったので、全部で6論文とした。（詳細は別掲）

7) 認定士制度について

阪常任理事より詳しく報告あり、規則、細則、暫定処置など、満場一致で承認された。

8) 2001年度第9回日本歯科色彩学会・学術大会について

大会長の宮崎常任理事から大会についての経過報告があった。

9) 2002年度第10回日本歯科色彩学会・学術大会について

第10回学術大会は、阪秀樹先生を大会長に開催することが提案され了承された。

7. 閉会

1999年度 決算報告 (1999年4月1日～2000年3月31日)

項目	1999年度決算案	1999年度予算	差異	執行率	備考	
歳入の部	会費	2,786,000	2,640,000	▲ 146,000	106%	5,000×18名 10,000×175名(1999年度正会員253名(内1名は前年度納入済)中、納入率89%) + 臨時会員(3,000×2名) 10,000×21名(但し40名分=50,000×3名、40,000×1名、20,000×4名、10,000×13名)(過年度未納者91名中、納入率23%) 30,000×18口(1999年度分18社(内1社は免除につき)中、納入率95%) 15件(別刷料含む) 4件 「歯科色彩の話」印税(16,280 [=43部])「歯の色の話」印税(886,800 [=1235部])「歯の色の話」(27,000)利息(186)漬色カード(43,000)会誌カバー(6,000)学協会著作権協職会(46,316)雑収入(360)
	入会金	90,000	100,000	▲ 10,000	90%	
	本年度会費	1,756,000	1,800,000	▲ 44,000	98%	
	過年度会費	400,000	200,000	200,000	200%	
	賛助会費	540,000	540,000	0	100%	
	論文掲載料	1,106,938	500,000	606,938	221%	
	広告掲載料	150,000	150,000	0	100%	
	雑収入	806,042	300,000	506,042	269%	
	(小計)	(4,848,380)	(3,590,000)	(1,258,380)	135%	
	前年度繰越金	2,754,627	2,754,627	0		
合計	7,603,007	6,344,627	1,258,380	120%		
歳出の部	学術大会運営費	500,000	500,000	0	100%	第8回大会 第6巻1号、2号印刷費(2,074,800) 別刷(283,500) 通信費(241,153)振込料(18,887) 封筒印刷代(72,555)文具代(12,305)振込用紙印刷代(72,450)名簿印刷代(55,100) 第22号～第25号 「歯科色彩情報教育に関するアンケート」通信費(28,000)印刷費(10,000) 広告(10,500)花代(15,750)
	調査研究費	0	0	0	100%	
	学会誌	2,358,300	2,000,000	358,300	118%	
	通信連絡費	260,040	250,000	10,040	104%	
	事務費	212,410	150,000	62,410	142%	
	交通費	207,000	450,000	▲ 243,000	46%	
	会議費	48,157	140,000	▲ 91,843	34%	
	ニュースレター費	30,711	70,000	▲ 39,289	44%	
	事業費	38,000	250,000	▲ 212,000	15%	
	事業委託費	180,000	180,000	0	100%	
予備費	26,250	250,000	▲ 223,750	11%		
(小計)	(3,860,868)	(4,240,000)	(▲379,132)	91%		
次年度繰越金	3,742,139	2,104,627	1,637,512			
合計	7,603,007	6,344,627	1,258,380			

上記1999年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます。  
2000年3月31日 生田博康 印/神津 瑛 印

平成12年度 事業計画

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1. 総会・学術大会の開催      | 7. 初心者講座の開設                                      |
| 2. 雑誌の発行           | 8. 色彩関係の研究所見学会                                   |
| 3. ニュースレターの発行      | 9. 歯科色彩学用語集の発行                                   |
| 4. 会員の増加           | 10. 歯学部および歯科技工士専門学校、歯科衛生士学校における歯科色彩学のカリキュラム導入を促進 |
| 5. 雑誌投稿の中から優秀論文の表彰 | 11. その他  |
| 6. 認定士制度の設立        |  |

2000年度 予算案 (2000年4月1日～2001年3月31日)

項目	2000年度決算案	1999年度予算	増減	備考	
歳入の部	会費収入	2,610,000	2,640,000	▲ 30,000	5,000×20名 253名×70%×10,000=1,770,00 10,000×20名 30,000×18社
	入会金	100,000	100,000	0	
	本年度会費	1,770,000	1,800,000	▲ 30,000	
	過年度会費	200,000	200,000	0	
	賛助会費	540,000	540,000	0	
	雑収入	1,450,042	950,000	500,000	
	論文掲載料	500,000	500,000	0	
	広告掲載料	150,000	150,000	0	
	雑収入	800,000	300,000	500,000	
	当期収入合計	4,060,000	3,590,000	470,000	
前期繰越収支差額	3,742,139	2,754,627	987,512		
収入合計	7,802,139	6,344,627	1,457,512		
歳出の部	事業費	2,820,000	2,820,000	0	第9回大会(表彰費(50,000)含む) ホームページ維持費(100,000)含む 新設 廃項 新設(2000年に限る)
	学術大会運営費	550,000	500,000	50,000	
	学会誌	2,000,000	2,000,000	0	
	ニュースレター費	170,000	70,000	100,000	
	調査研究費	100,000	0	100,000	
	事業費	0	250,000	▲ 250,000	
	会議費	360,000	590,000	▲ 230,000	
	交通費	100,000	140,000	▲ 40,000	
	事務管理費	260,000	450,000	▲ 190,000	
	通信連絡費	580,000	580,000	0	
事務委託費	250,000	250,000	0		
認定審査会導入金支出	1,500,000	0	1,500,000		
予備費	300,000	250,000	▲ 50,000		
当期支出合計	5,560,000	4,240,000	1,320,000		
当期収支差額	▲ 1,500,000	▲ 650,000	850,000		
次期繰越収支差額	2,242,139	2,104,627	137,512		

## 優秀論文選考結果

今回、日本歯科色彩学会優秀論文選考規定により選考を行った。選考は選考委員6名により日本歯科色彩学会誌第一巻より第六巻二号までの通巻7冊を対象に選考した。各委員は、規定の選考基準に照らし、各巻より採点対象を1題以上5題以下選考し集計した。各委員は任意で規定限度5題を選考したわけではない。

各委員の順位については第1位には5点、第2位4点、第3位3点、第4位2点、第5位1点をもって集計し下記の論文を選考した。創刊一巻は原則として採点しないこととしたため、各巻1題総計6論文を優秀論文として選考した。

日本歯科色彩学会  
論文賞選考委員会委員長  
阪 秀樹

「各種市販コンポジットレジンの投下光線の空間分布とヘイズ」

猪腰 重久

「口腔内写真における各種フィルムによる歯冠及び歯肉の色再現性の違いについて」

鈴木良茂、他

「シェードガイドを用いたコンポジットレジンの色選択における明度、彩度、色相との関係について」

片山伊九右衛門、他

「Shade Guideの色調と透明性のグラデーションについて」

長谷川 明、他

「ポーセレンの三次元反射光成分に関する研究」

永沢 栄、他

「陶材ブロックにおける背景色の影響」

市村 葉、他

以上6論文が優秀論文として選考されました。

## ポスト歯科の色彩

常任理事 元呑昭夫

色の見えの問題は誰でも見えている、という前提が崩れたときのことはあまり考えられていない。歯の色の見えは複雑な背景が絡むことが多く、色の見えを説明することは困難なことである。目による見えを器械によって測定すればかなり正確になることは自明であるが、所詮われわれがどのように色を見ているか摺めなければまったく役に立たない、のです。そこでは実証的であるか現象記述によるのかという方法論は別として、現代における共通する性癖とでもいえる考える力の不足の回復がまだ役に立つのではないのでしょうか。

ところで歯の色の見えは人の口腔内であってしかも口唇や皮膚色に影響されているものであるという認識は前提となるでしょう。この前提となる条件は色を見るという行為にあたってどのように影響を与えるものであるかという調査・研究が公表された歯科の論文は寡聞にして見受けません。

おそらく本会員であれば色の見えに関する主観的な評価をさまざまなシーンにおいて求められ、また日ごろ疑問に思われておられると思います。

合理的説明がつきにくい色の見えのさまざまな内容を相互の意見として持ち寄ることによって歯科の色彩についての知見が得られることができる、と考えていますがこのような勉強会はなど如何でしょう。色彩の見えの評価という方法は物体の表面特性に関しては取敢えず方法論としても定着しています。つまり色の物体表面の「色の表示方法」として、色相、明度、彩度を三属性によって連記する方法です。

歯の色も色の三属性によって表示できますが、歯の色の見えは三属性による値以外の要素があり、形態、構造、また再現する場合には歯科材料による違いや、歯質成分による光の光学的挙動すべてが複雑に絡み合ってくるわけで縷々述べた要因の実験解析を行うだけでおそらく数年かかることになるかもしれません。また色彩学的にはこうした複雑な要因はなるべく実験検証するために簡素化して再現性を得なければならぬためますます現実の歯の色の見えと接点が得られにくくなる状況も生み出します。このような反省として、歯の色の研究において測色機の利用によって歯の色の見えはすべて解決していないことと、そしてもっとも考えなくてはならないのが主観的評価が方法論として教育されていないこと

があると考えられます。

我々は過去の偉人による学業成果を手軽に受けることができる環境にあります。古典的色彩学書として近代色彩学の祖と呼ばれているニュートン(光学、ニュートン著、島尾永康訳 岩波文庫 1991)以来色彩学は科学的方法を発展させてきました。しかし近代科学を枠組みとして築いてきた科学的方法の陰りは、色彩学のもう一方の祖で

あったゲーテ(色彩論、ゲーテ著、高橋義人他訳 工作舎 1999)の色彩論を単なる現象論としての色彩記述以上に捉えまた考えることが要求されているのではないかと思います。

## 誌 題

### 本会副会長 潤田和好先生 郡山で半世紀の夢かなう。

日本歯科色彩学会副会長の潤田先生は、今回、長年の夢であった油絵の個展を郡山市の絵画愛好家で作るチャーチル会郡山の第53回展に自宅近くの逢瀬川の桜や海外旅行の思い出の風景など66点を出品され、多くの市民の目を楽しませた。今後とも絵画を通じて色彩学の奥を深めていただき、日本歯科色彩学会をご指導いただきたいものと希望し、読売新聞の記事を紹介します。

日 時 2000年5月31日～6月4日 郡山市民文化ホール

読売新聞福島版 2000年6月2日号

潤田さんは、鹿児島県奄美大島生まれ、美術部に所属した高校時代に油絵の魅力に目覚めた。東京歯科大学で主に補綴学を専攻、同大学助教授を経て、1972年招聘された奥羽大学歯学部で1996年まで教授を務めた。

一方、趣味の油絵を描き続け、郡山に住みはじめてから全国の絵画愛好家団体「チャーチル会」に所属して。本格的な創作活動を開始。桜の季節には市内を流れる逢瀬川、秋には磐梯熱海温泉から猪苗代町方面に抜ける有料道路「母成グリーンライン」の紅葉と、主に県内の風景画を月に三枚ペースで描いてきた。

学会などで日本各地や中国、ヨーロッパなどを周る時も、スケッチブックとカメラを手に名勝地を訪ねて作品としてきた。

初の個展には、中国・桂林の雄大な自然を描いた作品など、「ただ風景を写すのでなく、感動を表現する」という潤田さんの熱い想いが詰まった66作品を厳選した。

潤田さんは、「大学勤務時代に自然な色の人工歯作りに取り組み、患者さんと接する中で、自然な色彩こそ、生きる喜びにつながると実感した。印象派の巨匠のモネを目指して一生描き続けたい」と話している。

## お 知 ら せ

1. 新潟での学会は盛大に行われました。加藤大会長、新海実行委員長はじめ関係各位に感謝申し上げます。
2. 認定士制度(委員長:阪 秀樹常任理事)が、総会で認められました。詳しくは次号で報告します。
3. 講習会(担当:元呑昭夫常任理事)が始まります。歯科色彩学の研究に携わる先生、審美修復作製の技工士さんには必須事項が一杯です。教授の先生には教室員にお勧めください。技工士学校の先生には学生にもお勧めください。
4. 論文表彰制度委員会(委員長:阪 秀樹学術部長)が6論文を選びました。次回は、本会の雑誌(宮崎隆編集委員長)の原著論文が対象となります。奮って応募ください。詳しくは原稿募集時に掲載します。
5. 本会理事の松尾通先生が会長である日本歯科漂白研究会が2000年10月8日 10:00～17:00、東京医科歯科大学歯学部特別講堂で行われます。
6. 新たに細矢由美子先生(長崎大学歯学部小児歯科)、向山賢一郎先生(昭和大学歯学部小児歯科)が常任理事に加わりました。本会についてのご意見など、どしどし事務局にお申しください。

# 「歯科色彩学の基礎および色彩感覚実技訓練講習会」

主催：日本歯科色彩学会

後援：クインテッセンス出版(株)

協賛：セリック株式会社、カラーランド研究所、日本電色工業株式会社 他

開催場所：埼玉歯科技工士専門学校 埼玉県大宮市東大宮1-12-35 電話048(685)5211

●日本歯科色彩学会事務局(クインテッセンス出版(株)内) Tel 03(3292)3691

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 廣瀬御茶ノ水ビル4F

●カラーランド研究所(講習会担当) Tel 048(811)1911 Fax 048(811)1912

Email colorlan@beige.ocn.ne.jp

参加費：会員及び学生38,000円、非会員45,000円

実技訓練資料代(会員、学生 5,000円、非会員10,000円)

第一回色彩学基礎講座 9月30日(土) 10:00~16:00 色彩学基礎

色の表示体系感覚言語色名、色名表示システム、和名、慣用色名、その他、色の三属性マンセル体系、オストワルト体系、

NCS 体系その他 分色の表示体系と色彩感覚色名感覚 色の三属性感覚 CIE色表示体系CIEXYZ体系 R, G, B からX, Y, Z へ変換

第二回色彩感覚理論と応用 10月7日(土) 10:00~16:00 色彩の感覚実技訓練と養成

三点識別感覚訓練 HVC 比色感覚 歯冠色の比色と判定評価 色差空間式変換の計算 $L^*a^*b^*$ ,  $U^*V^*W^*$ 他 シェードガイドの比色方法照明光源の変化による色変移について演色計算 色再現方法の実技訓練

第三回シェードマッチング 10月28日(土) 10:00~16:00 シェードマッチング

観測照明条件の違いによるシェードマッチング 各種光源の特性データ シェードガイドの計測 歯冠色の比色と判定評価 各種サンプル見本の測色 応用計算 $L^*a^*b^*$ ,  $U^*V^*W^*$ 他 判定基準の計画

第四回カラーデバイス理論 11月4日(土) 10:00~16:00 デジタル画像の伝送と再現

歯科医療におけるデジタル画像の現状 画素数と解像度 モニターのチェック 皮膚(肌色)、口唇、粘膜、毛髪 応用計算 $L^*a^*b^*$ ,  $U^*V^*W^*$ 他 環境と色彩インテリアと色彩 最近の好まれるコーディネート傾向 歯冠色を見るための環境計画

※各種コーディネートサンプル

第五回測色器操作実技講習 11月11日(土) 10:00~16:00 測色計算測色

計算プログラムによる歯冠色の予測 カラーマネジメントシステムの紹介 質疑応答

地方の先生方には、ある程度を受講者をお集め頂ければ地方講習会を行います。詳しくは事務局または、カラーランド研究所まで。